

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年11月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104548
法人名	医療法人 敬天会
事業所名	グループホームいしき
所在地	鹿児島市伊敷台4丁目34-50 (電話) 099-229-1010
自己評価作成日	令和3年10月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様とのコミュニケーション作り ・四季を感じさせる工夫

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	-----------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和3年11月18日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>ホームは、市の中心地より車で10分ほどの伊敷ニュータウン住宅街の一角に、平成17年に同法人の介護付き有料老人ホーム、企業主導型保育所に隣接して設置されている。周辺には個人住宅が立ち並び、少し離れてスーパーマーケットや個人商店、小学校、医療機関等があって利便性は十分で、また、2階建てのホームは日当たりが良く、広い園庭には多くの樹木が植えられ、遠くに桜島が望めるなど静かで和やかな雰囲気である。</p> <p>開設以来、地域との交流に積極的に取り組んできているが、現在は、友人知人の来訪や地域の清掃活動、イベントの参加、ボランティアの受入れ等はコロナ禍に配慮して自粛している。敬老会やハロウィンには保育園児の来訪があり、周辺の散歩時に地域の人と挨拶を交わす等の交流は継続されており、利用者の楽しみとなっている。また、殆どの職員が認知症サポーターの資格を有し、地域住民からの認知症や高齢者福祉に関する相談に丁寧に対応している。</p> <p>管理者及び職員は理念に沿って「利用者がいきいきと楽しみのある」「心身ともに寄り添い安らげる」「季節を肌で感じられる」生活が過ごせる支援に日々努めている。日常的に季節を感じてもらえるように、玄関やホールには季節に応じた壁画(職員と利用者で作成)や飾り物を毎月置き換えるなど工夫し、食事にも季節感のある食材やメニューを取り入れて利用者に喜ばれている。</p> <p>日頃から利用者及び家族の思いや要望の把握に努め、利用者主体のケアに取り組んでおり、アンケートの結果からも厚い信頼関係が窺える。コロナ禍により外出計画や地域のイベントの多くが中止になっている中で、感染予防を徹底しながらドライブによる桜やコスモスの花見を実施し、ホーム内での日頃のレクリエーションの工夫で気分転換を図っている。</p> <p>管理者は、職員と気軽に意見を言い合える信頼関係と協力体制を構築しており、日頃の業務の中や全体会(理事長も出席)、年2回実施の自己評価、随時の個別面談等で意見や要望の把握に努め、個人的な事情にも配慮しながらサービスの向上や働きやすい職場環境の整備を、法人本部とも協議しながら取り組んでいる。ケアに関する助言・指導や研修の実施、資格取得へのバックアップにも努めており、資格取得や外部研修時のテキストや受講料等には法人の助成制度があり、職員のモチベーションに繋がっている。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	気持ち的にはあるが、現在コロナ禍で地域との関わりはない。理念の共有はある。	利用者が「いきいきとした楽しみのある」「心身共に寄り添い安らげる」「季節を肌で感じる」生活が過ごせるように支援することをホームの理念に掲げて廊下等に掲示し、日々の朝礼でも唱和して共有を図っている。自己評価（年2回）や全体会等でケアの振り返りや意見交換を行って、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	コロナ禍でなし。	従来、地域の清掃活動やイベントに参加し、散歩や買い物時の地域の人との会話や施設見学、ボランティア等を受け入れ、また法人の夏祭りには住民の参加が得られるなど円滑に交流してきているが、現在は、コロナ禍の為、買い物や外出、外食、ボランティアの受け入れ等は控えている。隣接の保育園児の来訪や有料老人ホームの入居者との交流は継続し、地域住民からの相談にも適切に対応している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	コロナ禍でなし。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部の方々との会議を行っていないため、文書にて送付し、事あれば意見を求める体制はある。	従来、会議は隔月毎に開催し、家族や民生委員、長寿安心センターが出席して、ホームの行事や利用者の状況、ヒヤリハット等の報告や感染症予防、災害時対応への意見交換で改善を図ってきたが、現在はコロナ禍に配慮して一堂に会することは控え、委員に資料を送付して意見等をもらって改善に繋げている。会議録は、常時玄関に置いて閲覧に供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括の方々との連絡の取り合いは行っている。	介護保険の更新や各種制度の申請、報告に関すること、ケアに関する相談、感染症予防に関する協議等を行って指導や助言をもらうなど、市担当者とは日頃から密に連携を図り協力関係を築いている。行政や社会福祉協議会主催のリモートによる会議等にも積極的に出席してサービスの向上に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月に一回、職員会議での話し合いを行い、どうしたらベッド柵（2点）など外せるか話し合い、できることから取り組んでいる。	身体拘束や虐待のないケアの取り組みについては勉強会で周知を図り、振り返りや具体的なケアの方法等の意見交換を行って自由な暮らしの支援に努めている。現在、家族の了解を得てベッド柵を使用している利用者については、常に3原則を視点に入れケアの状況は日々記録している。「緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書」で同意も得ている。利用者の思いを汲み取り、尊厳や個性を大切に支援に努めており、不適切な言動には注意し合うなど、日頃から改善に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人全体での研修会もあり、随時研修会を受け、職員に開示している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	少しづつは理解してきているようだが、全体の職員までの浸透はしていない。その都度話す機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	時間をかけ説明し、質疑を行っている。また、後日電話等でも受け付けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご本人の要望は、聞くことがなかなか厳しいものもあるが、ご家族様からは電話やライン面会時などを含めお聞きし、できることは行っている。	利用者の思いは日頃の会話や表情、仕草等で思いの汲み取りに努め、家族からの意見や要望は面会や電話、LINE、手紙、月報「いしき通信」で利用者の状況を伝えながら把握してサービスの改善に繋げている。現在はコロナ禍のため、イベントへの家族等の参加は控えてもらっているが、面会はガラス窓越しやリモートにより姿を見せ合うなど工夫して実施している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	随時、意見は聞いている。	管理者及び職員は気軽に意見を言い合える信頼関係を築いており、日頃の業務の中や全体会（法人理事長も出席）、自己評価等で意見や要望を把握し、個人的事情や悩みについても随時相談を受けている。出された要望は協議して改善を図り、スキルアップを図る研修の実施や資格取得へのバックアップ等に努め、勤務体制も有給休暇の取得や個人的事情等にも配慮するなど、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の人事考課表にて把握していると思われるが、整備は整っていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部・内部研修への参加促進、実務者研修などの推進、費用の援助。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流はない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人とのコミュニケーションの取り方を把握し、一人が他の職員と得た情報を共有している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族様の意見を聞き、安心して預けていただけるよう情報の共有をしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>意見はしっかりと聞き、出来ることから行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>いきなりではなく、徐々に家族としてやっていけるよう、努力している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お互いに情報交換・共有している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お話を伺った中から、時折思い出していただけるような回想を行っている。	利用者毎の馴染みの人や場の情報を共有し、通常は散歩や買い物、通院、一時帰宅、外食、墓参等を家族の協力を得ながら支援しているが、現在はコロナ禍に配慮して買い物や外食、外泊等は控えている。ドライブによる桜やコスモスの見物や訪問美容、家族とのリモートやガラス窓越しの面会、電話、手紙の取り次ぎ等で関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	関わりが良い方との席次など考慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されたご家族様に、必要時の相談は求めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限りの意向に添った援助は行っている。	利用者の思いを大切にケアに努めており、日頃の会話や仕草、独自のサイン等から思いを汲み取り、安全で生きがいのある利用者主体の暮らしを家族の意向も確認しながら取り組んでいる。利用者が希望する趣味（ぬり絵、ビデオ鑑賞等）や食材の下処理、片付け等の取り組みを残存能力に配慮しながら個別に支援し、それらの成果には評価や感謝の言葉を添えて自己肯定や達成感が得られるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時の情報を基に把握している。職員が各担当している入居者様のことは特に把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その方に合わせた対応は行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネより計画書を開示し、また評価をケアマネに伝えている。	ケアプランには、利用者や家族の意向を丁寧に把握し、主治医の指示やモニタリング時の職員の意見等を基に、残存機能や習慣、趣味等にも配慮して作成しており、利用者及び家族にも計画内容を説明して理解を得ている。利用者の状況変化には、随時、実態に沿った計画に変更して改善に取り組んでおり、実施状況は申し送りや業務日誌等で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	個別記録の必要時の詳細記入を行い、朝夕の申し送りにて確認している。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	必要時の外診等の援助を行っている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	楽しんで生活されているかは分からないが、安全性には努力している。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	入居前のかかりつけ医を尊重している。また、何事も主治医に上申し指示を仰いでいる。	かかりつけ医については、本人・家族が希望する医療機関での治療を支援しており、定期的な通院や訪問診療が実施され、他科受診もコロナ禍に配慮して現在はホームで同行している。看護師（2名）を中心に衛生や健康管理を日頃から徹底し、協力医療機関との医療連携の体制も構築しており、健康状態を家族にも密に報告することで利用者及び家族の安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	必要時、必ず看護師の所見を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	常に、2～3日おきに病院側からの情報収集に努めている。（主として看護職員）		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に意思確認を行うが、もしもの時は指針に基づき説明を行っている。	重度化や終末期の対応の指針を整備し、利用開始時に本人や家族に説明して理解を得ており、「事前意思確認書」で意向を確認している。重度化した時点で主治医より病状説明があり、家族の意向を充分に聞き取り、主治医との連携や24時間オンコール等の体制を構築して可能な限り希望に沿った支援に取り組んでいる。昨年度は3件の看取りを実施しており、終了後は振り返りや意見交換を行ってスキルアップを図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	初期対応を行いながら、看護職員の指示を仰いでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域との協力体制は若干欠けていると思われる。職員はマニュアルに基づき対応し、避難訓練を行っている。</p>	<p>年2回、夜間想定を含む火災や地震災害を想定した訓練を毎回消防署の協力も得て実施している。日頃から避難経路を確認し消火器等の点検の実施や災害の報道を基に意見を交わすなど防災への認識の共有に努めている。スプリンクラーや自動通報装置（非常ベルは隣接の有料老人ホームにも連動）を設置し、ラジオ、ヘルメット（各ユニット10個）、10日分の食料品、飲料水、介護用品を備えている。</p>	<p>次のステップに向けて期待したい内容</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方に合った言葉かけを行っている。	利用者の個人情報や守秘義務については運営規定や利用契約書に明記し、人格や誇りを損ねる事の無いように研修の実施や日常的な意見交換で認識を共有している。利用者の生活歴や背景、習慣等にも配慮しながら自己決定を尊重した支援に努めており、衣服の着脱や排泄、入浴時の支援は、羞恥心にも配慮して適切な言葉遣いや対応で取り組んでいる。利用者に関する記録等はキャビネットで適切に管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が答えられるような言葉の内容を工夫している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の希望で部屋で休んだりしていただいているが、一部の方々は意思決定に欠ける。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服の選定など、お聞きしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員主体の準備などにはなるが、イベントや誕生会などリクエストをいただいている。	利用者の好みや栄養バランス、形態、季節感、疾病に伴う摂取制限等に配慮しながら調理しており、利用者も簡単な下処理やテーブル拭き等を楽しみながら行っている。食事は利用者の何よりの楽しみで関心も高いことから、季節の行事食や弁当購入、手作りのおやつ、テラスでのお茶等、日々工夫しているが、コロナ禍に配慮して外食や家族との会食は控えている。食事や水分の摂取状況を記録し、口腔ケアもプランに反映させて支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	一人ひとりに合った量、また水 分量・食事量などの把握は、記 録にしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の 力に応じた口腔ケアをしている	自身で出来ない方々への援助、 必要に応じての口腔清掃の道具 の準備は行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣 を活かして、トイレでの排泄や排泄の自 立に向けた支援を行っている	排泄パターンを取ったり、定時 での排泄誘導を行っている。	各利用者の排泄パターンを排泄チェック 表で把握し、心身の状況や習慣に配慮し た声掛けを行って、可能な限りトイレで の排泄を支援している。利用者の状態に 応じた介護用品やケアの方法等を介護計 画に反映させて改善に努めており、繊維 分の多い食材や乳製品、水分の摂取及び 運動量等に配慮して便秘の予防に取り組 んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、個々 に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取の促進や、繊維食物の 摂取促進。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴回数は考慮しているが、施設主体での入浴になっている。	基本週3回の入浴を支援しているが、必要時には、その都度、シャワー浴等で保清している。順番や温度、同性介助、好みのシャンプー等は意向に沿って柔軟に対応し、保湿や湯ざめ防止に有効なバスソルトを使用しており個浴で楽しんでもらっている。入浴後は水分補給や皮膚疾患の手当も行なっている。入浴をためらう利用者には、無理強いしないで時間の変更や声かけ等を工夫して、本人の意欲を待つように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	要望があれば、午睡の介助・部屋で過ごしていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診時の変化に対し、記録を残し、申し送りノートなどにより確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	戸外への散歩、好きなことなどを取り入れている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍で現在未実施。	日常的に園庭やホーム周辺の散歩等を行い、ドライブ時には馴染みの街並みや景色を楽しむ等工夫しているが、コロナ禍の為、買い物や一時帰宅、墓参等の外出は控えている。また地域のイベントは殆どが中止され、ホームの行事も制限されている状況であるが、ドライブでの桜やコスモスの花見や園庭の散歩、室内でのゲームや昔の歌謡曲視聴など、気分転換を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	お金の所持はしていない。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	ライン電話面会などを行っている。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	季節感を得られるように、毎月壁画を変えている。	リビングは明るく余裕あるスペースが確保され畳の間も設けられており、動線や利便性に配慮してテーブルやソファ等の家具が設置されており、利用者は日中の殆どを過ごしている。季節感のある壁画や飾り物が毎月入れ替えて置かれ、利用者の作品や活花も飾られており、台所からは調理の音や臭いも感じられて家庭的な雰囲気である。加湿器やオゾン発生器が設置され、清掃や整頓、空調、衛生管理等も徹底しており、利用者は日常的に園庭の樹木や草花を愛でるなど、四季を感じながら穏やかな日々を過ごしている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	工夫は行っているが、入居者様同士が自ら動くことは減多にない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時や面会時、持ち込んでもらっている。</p>	<p>居室はフローリングに腰高窓の構造で明るく、エアコン、ベッド、タンス、吊り戸棚、オゾン発生器が設置しており、利用者に確認しながら整理整頓を支援している。新入居者が慣れるまでの間、戸惑うことの無いように入口には苗字を表示するなど工夫している。利用者は自宅で愛用していたテレビや寝具、家族写真等を持ち込み、自身の作品や頂いた品物を飾る等、居心地良く過ごせる環境になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>その方に合った居室内作りや、安全が確認できるようなリビング整備。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない